

このコーナーでは、病院施設や事業のほか、生活に役立つ“健康豆知識”などを紹介します。



市立長浜病院 臨床工学技術科

臨床工学技士 次長兼 RST

(呼吸ケアサポートチーム)

草野 信悟

在宅医療の不安

医療費の増加や、高齢化が進む中、政府は在宅医療を推進し、高齢者が要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで送れるように地域がサポートし合う社会の実現を目指しています。

当院では、医師、看護師、理学療法士などのスタッフで構成する呼吸ケアサポートチーム(RST)を平成30年から編成し、院外活動において医療機器を使用されている人を対象に地域に出向き、医療ケア・サービスや情報の提供を行っています。在宅で医療機器を使用している患者様・ご家族様の不安を少しでも軽減できるよう、地域の開業医の先生達や訪問看護ステーション

のスタッフと協力し、「いつでも在宅支援を行える体制」を整え、少しでもご自宅で安心して過ごして頂けるように取り組んでいます。活動を開始して6年目を迎え、相談件数は年々増加しており、内容は、機器の設定や調整、呼吸にまつわる相談など多岐にわたり、排痰訓練や呼吸リハビリテーションなど病院で行っていることを、できるだけ在宅でも実現できるように指導も行っています。また、機器による皮膚のトラブル(MDRPU)や呼吸ケアなど専門の認定看護師が同行しアドバイスをさせていただいています。

私達は、医療と機器の専門家であり、最新の情報や関連デバイスの知識を活かして、今後も地域に還元していきます。

なお、対象者は当院から医療機器を導入された人、かかりつけ医から紹介された人になります。まずは、かかりつけ医や訪問看護師にお声がけいただければと思います。

問 市立長浜病院

☎ 68・2300(代表)

ながはまの文化財

市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとく誇り輝いています。このコーナーでは、数ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介いたします。

重要文化財

「木造千手観音立像」

指定日: 昭和44年6月20日

所在地: 高月町唐川 日吉神社蔵(観音堂安置)

現在十二本を残し他は失われていま

す。
像表面には※錆漆の地固めを厚く行い、その上に※漆箔が施されています。顔や胸腹部などもポリウム豊かな丸さをよく表現し、一見すると※木心乾漆像のようにみえます。また、裳の衣文の彫り口には※翻波式衣文の表現がみられます。上半身は部厚く、腰は強く引き締め、両脚部は肉付けを厚くせず長めに造り、上半身の重さを支えながら、全体にさっそうとした美しさがあります。制作は平安時代初期、九世紀の中頃から後半と推測されます。



▲唐川、千手観音立像

【語句説明】

- ◆錆漆…水で練った砥粉と生漆を混ぜたものを塗る、漆塗りの下地工程。
- ◆漆箔…漆の上に金箔を押すこと。
- ◆木心乾漆…像のあらかたを木彫り作り、表面に漆と木粉を練り合わせた木屎を盛り上げる技法。
- ◆翻波式衣文…丸い大波と尖った小波とを交互に繰り返す衣文の表現。

問 高月観音の里歴史民俗資料館

☎ 85・2273